

故人全歸也。雖則八年之久，猶復見之。此大抵是其子孫也。

實大和の後、又新潟名門船井は、その子の船井義之が、この地に居た。義之は、若大輔の相手を務め、朱鷺社の主事となつて、義之の娘が、義之の娘が、義之の娘が、義之の娘が、義之の娘が、

性靈期，故在人間此說無能為力。但其後人之傳說，則又復有不同者。

卷之三

當時觀湖有感賦韻奉之。一時人以爲奇絕，其後不復能作此體。惟偶有詩句，如「萬葉千林秋色裏，一聲鶯鶯曉風中」，又「一朝春盡紅顏老，萬物無言綠葉深」，皆可與之抗勝。

ノ大工場ニ資本家全額負擔ノ要求ヲ以テ争議ガ開始サレ又神戸ニ  
於テハ工場代表皆會議ガ開カレ健康保険法反対ノ意志表示ノタメ  
ニ五分間ストライキガ決行サレタ

議サレ各地區的ニ被保険者同盟ガ組織サレタノデアル

昔が大阪ニ於テモ毎ルトヨロノ工場ニ資本家全額貢入要水た  
議サレ各地區的ニ被保険者同盟ガ組織サレタノデアル  
其他全國ヲ通シテ激烈ナ闘争ガ開始サレルニ至ツタノデアルガ此  
ノ闘争ニ對スル官憲ノ彈壓ハ言語ニ絶スル横暴ヲ極メ演説會ニ於  
テハ健康保険ニ對スル發言ヲ絶對ニ禁止サレビラノ記布ニ對ンテ  
ハコレ又禁止シ甚ダシキハ出版法違反ニ引キカケルノ暴狀ヲ取テ  
ナシ爭議ニ對シテハ當ニ懲追迫害ノ限リヲ盡シタノデアル  
更ニ吾ガ大阪ニ於テハ資本家ガ全額負擔フ承認シタ工場ニ對シテ  
官憲、千歩ヲ取テナシ全額ハ達成スルモノダト云アロ實ノ下ニ當

官憲ハ十過元取テナシ全額ハ追成ハナリノ外に又ニ口實ハニ無ニ  
ニ妨害ヲナシ來ツタ